

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マーベラスエンターテイメント
 コード番号 7844 URL <http://www.mmv.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月10日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 中山 晴喜
 (氏名) 中山 郁伸

TEL 03-5769-7447

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,075	26.5	△168	—	△186	—	△160	—
21年3月期第1四半期	1,640	—	△285	—	△249	—	△186	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	△1,451.90	—
21年3月期第1四半期	△2,209.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第1四半期	6,882	1,614	23.5	13,237.15
21年3月期	6,731	1,291	19.0	15,363.97

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,614百万円 21年3月期 1,276百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期連結累計期間	4,000	△7.9	△320	—	△350	—	△360	—	△2,917.81
通期	10,300	1.6	300	—	240	—	100	—	810.50

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

〔(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 123,380株 21年3月期 84,480株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 1,380株 21年3月期 1,380株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 110,885株 21年3月期第1四半期 84,480株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日～平成21年6月30日）における当社グループ連結業績は、売上高2,075百万円（前年同四半期比26.5%増）、営業損失168百万円（前年同四半期は営業損失285百万円）、経常損失186百万円（前年同四半期は経常損失249百万円）、四半期純損失160百万円（前年同四半期は純損失186百万円）となりました。

売上高におきましては、デジタルコンテンツ事業において、主力の新作オリジナルタイトルの発売があったことに加え、舞台公演事業において、前年同四半期には計上がなかった「ミュージカル『テニスの王子様』」の公演実績を計上したことにより、グループ全体の売上高は前年同四半期を上回りました。

利益におきましては、音楽映像事業において、コンテンツ投資の絞り込みによるコンテンツ償却費の圧縮や製造原価の削減が進んだこと、デジタルコンテンツ事業において主力の新作オリジナルタイトルの販売が堅調に推移したこと、本社固定費の圧縮が進んだこと等により、グループ全体の利益は前年同四半期に比べ改善いたしました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

①音楽映像事業

音楽映像事業におきましては、アニメーションを中心とした優良コンテンツの音楽・映像商品（パッケージソフト）化とコンテンツの企画立案から二次利用までを行うマスターライセンス（映像著作権）保有作品の製作を行っております。

当第1四半期連結会計期間におきましては、音楽事業において、前期に発売した「フレッシュプリキュア！」の主題歌CDのリピート受注が好調に推移いたしました。

映像事業におきましては、前期に引き続き「ミュージカル『テニスの王子様』」シリーズDVD、「家庭教師ヒットマンREBORN!」、「あかね色に染まる坂」、「Yes!プリキュア5GoGo!」等の映像商品化を行いました。また、新たに「フレッシュプリキュア!」、「タユタマ」の映像商品化を行い、「タユタマ」については当社初となるDVDとブルーレイの同時発売を行いました。加えて、主力コンテンツ「家庭教師ヒットマンREBORN!」においては初めてとなるDVD-BOXを発売し受注が好調に推移したほか、平成21年3月に劇場公開された「映画プリキュアオールスターズDX みんなともだちっ☆奇跡の全員大集合!」の興行収入が好調となりました。コンテンツ投資の絞り込みにより、発売タイトル数が減少した結果、前年同四半期と比べて売上高は減少いたしました。一方、コンテンツ償却費の圧縮が進んだこと、および、映画等のマスターライセンス収入が増加したことや、製造原価ほかコストの見直しを行った結果、前年同四半期と比べて利益は大きく増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間における音楽映像事業の業績は、連結売上高774百万円（前年同四半期比5.7%減）、連結営業利益150百万円（前年同四半期比411.6%増）となりました。

②デジタルコンテンツ事業

デジタルコンテンツ事業におきましては、据え置き型及び携帯型ゲーム機を中心としたデジタルエンターテインメントコンテンツの企画・開発・発売を行っております。

当第1四半期連結会計期間におきましては、国内において8タイトルを発売（前年同四半期は5タイトル）し、新作オリジナルタイトル「朧村正（Wii）」、「勇者30（PSP）」、「アークライズ ファンタジア（Wii）」が堅調に推移した他、前期に発売した「牧場物語 シュガー村とみんなの願い（PSP）」のリピート受注が好調に推移いたしました。英国子会社Rising Star Games Limitedにおいては、「Little King's Story（Wii）」（邦題：王様物語）等、計3タイトルを発売（前年同四半期は1タイトル）いたしました。米国子会社Marvelous Entertainment USA, Inc.においては、「Flower, Sun and Rain（ニンテンドーDS）」（邦題：花と太陽と雨と）を発売（前年同四半期は発売タイトルなし）いたしました。前年同四半期と比べ発売タイトルが増加し、新作オリジナルタイトルが堅調に推移した結果、前年同四半期と比べて売上高は増加し、損失幅は改善いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間におけるデジタルコンテンツ事業の業績は、連結売上高1,192百万円（前年同四半期比48.2%増）、連結営業損失99百万円（前年同四半期は営業損失112百万円）となりました。

③舞台公演事業

舞台公演事業におきましては、漫画やアニメ、ゲームの人気作品を原作にした興業ビジネスを展開しております。

当第1四半期連結会計期間におきましては、平成20年12月から平成21年3月にかけて公演した「ミュージカル『テニスの王子様』The Treasure Match 四天王寺 feat. 氷帝」の後半公演の実績を計上いたしました。前年同四半期に計上された舞台「リンゴの木の下で～昭和21年のジャズ」よりも公演規模が大きいため前年同四半期と比べて売上高は大幅に増加いたしました。地方公演の一部において集客に苦戦したことにより、営業損失の計上となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間における舞台公演事業の業績は、連結売上高108百万円（前年同四半期比630.7%増）、連結営業損失43百万円（前年同四半期は営業損失4百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は6,882百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円増加しました。これは主に、デジタルコンテンツの減少70百万円、投資その他の資産の増加206百万円等によるものです。

負債合計は5,267百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円減少しました。これは主に、買掛金の減少308百万円、短期及び長期借入金の増加109百万円等によるものです。

純資産合計は1,614百万円となり、前連結会計年度に比べ323百万円増加しました。これは主に、資本金及び資本剰余金の増加499百万円、利益剰余金の減少160百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、今後様々な要因によって実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,344,209	1,109,020
売掛金	1,009,534	1,243,996
製品	—	54,419
商品及び製品	69,596	—
仕掛品	350,596	300,172
映像コンテンツ	134,352	153,466
デジタルコンテンツ	2,484,752	2,555,113
原材料及び貯蔵品	28,373	25,753
その他	454,651	476,733
貸倒引当金	△37,991	△47,769
流動資産合計	5,838,076	5,870,907
固定資産		
有形固定資産	177,460	187,204
無形固定資産		
のれん	56,244	64,279
その他	81,635	86,670
無形固定資産合計	137,879	150,949
投資その他の資産	729,163	522,753
固定資産合計	1,044,503	860,906
資産合計	6,882,579	6,731,813
負債の部		
流動負債		
買掛金	509,393	818,345
短期借入金	2,311,746	2,281,840
1年内返済予定の長期借入金	408,004	400,000
未払法人税等	9,219	6,248
賞与引当金	34,529	63,717
返品調整引当金	26,043	27,305
その他	1,888,244	1,833,712
流動負債合計	5,187,182	5,431,170
固定負債		
長期借入金	71,996	—
その他	8,469	8,967
固定負債合計	80,465	8,967
負債合計	5,267,647	5,440,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,128,472	878,539
資本剰余金	1,129,991	880,059
利益剰余金	△570,700	△409,705
自己株式	△27,726	△27,726
株主資本合計	1,660,037	1,321,167
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△45,105	△44,421
評価・換算差額等合計	△45,105	△44,421
少数株主持分	—	14,929
純資産合計	1,614,931	1,291,675
負債純資産合計	6,882,579	6,731,813

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,640,928	2,075,553
売上原価	1,254,100	1,520,229
売上総利益	386,827	555,324
従業員給料及び賞与	118,351	121,475
賞与引当金繰入額	30,025	22,107
広告宣伝費	233,602	317,068
その他	290,766	263,431
販売費及び一般管理費合計	672,745	724,083
営業損失(△)	△285,917	△168,758
営業外収益	48,057	557
営業外費用		
支払利息	11,883	11,777
その他	139	6,858
営業外費用合計	12,023	18,635
経常損失(△)	△249,883	△186,836
特別利益		
貸倒引当金戻入額	18,256	11,864
特別利益合計	18,256	11,864
税金等調整前四半期純損失(△)	△231,626	△174,972
法人税、住民税及び事業税	662	753
少数株主損失(△)	△45,595	△14,730
四半期純損失(△)	△186,693	△160,994

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△231,626	△174,972
減価償却費	27,827	28,059
映像コンテンツ償却額	193,384	94,738
のれん償却額	8,034	8,034
賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,181	△29,188
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18,095	△9,649
返品調整引当金の増減額(△は減少)	3,186	△2,305
受取利息及び受取配当金	△244	△28
支払利息	11,883	11,777
売上債権の増減額(△は増加)	1,293,371	255,778
たな卸資産の増減額(△は増加)	△715,824	△184,536
仕入債務の増減額(△は減少)	△671,314	△318,894
未払金の増減額(△は減少)	△274,515	86,831
未払印税の増減額(△は減少)	△214,168	△109,454
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,287	△5,539
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△18,000	57,826
その他の流動負債の増減額(△は減少)	214,011	75,434
その他	—	△3,167
小計	△462,559	△219,255
利息及び配当金の受取額	244	28
利息の支払額	△13,322	△10,377
法人税等の支払額	△93,466	△6,833
営業活動によるキャッシュ・フロー	△569,103	△236,438
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,736	△9,276
有形固定資産の売却による収入	8,973	—
無形固定資産の取得による支出	△4,446	△5,075
敷金及び保証金の差入による支出	—	△88,347
敷金及び保証金の回収による収入	—	160
貸付けによる支出	△660	△1,350
貸付金の回収による収入	500	630
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,370	△103,260
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	904,286	1,268,839
短期借入金の返済による支出	△9,038	△1,269,573
長期借入れによる収入	—	80,000
長期借入金の返済による支出	△4,401	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△681
株式の発行による収入	—	499,865
配当金の支払額	△63,399	△160
財務活動によるキャッシュ・フロー	827,446	578,289
現金及び現金同等物に係る換算差額	38,794	△3,401
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	271,767	235,188
現金及び現金同等物の期首残高	1,334,636	1,109,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,606,403	1,344,209

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	音楽映像 事業 (千円)	デジタル コンテンツ 事業 (千円)	舞台公演 事業 (千円)	計 (千円)	消去又 は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	821,642	804,433	14,852	1,640,928	—	1,640,928
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	805	—	—	805	(805)	—
計	822,447	804,433	14,852	1,641,733	(805)	1,640,928
営業利益又は営業損失(△)	29,499	△112,151	△4,313	△86,964	(198,952)	△285,917

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品又は事業の内容

- (1) 音楽映像事業……………VHSビデオ、DVD、音楽CD、音楽原盤制作等
- (2) デジタルコンテンツ事業…………ゲームソフト、PCソフト
- (3) 舞台公演事業……………舞台公演

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	音楽映像 事業 (千円)	デジタル コンテンツ 事業 (千円)	舞台公演 事業 (千円)	計 (千円)	消去又 は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	774,553	1,192,476	108,524	2,075,553	—	2,075,553
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,895	—	—	2,895	(2,895)	—
計	777,448	1,192,476	108,524	2,078,448	(2,895)	2,075,553
営業利益又は営業損失(△)	150,913	△99,351	△43,621	7,941	(176,699)	△168,758

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品又は事業の内容

- (1) 音楽映像事業……………DVD、音楽CD、音楽原盤制作等
- (2) デジタルコンテンツ事業…………ゲームソフト
- (3) 舞台公演事業……………舞台公演

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (千円)	イギリス (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,534,191	106,736	—	1,640,928	—	1,640,928
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,226	—	—	1,226	(1,226)	—
計	1,535,417	106,736	—	1,642,154	(1,226)	1,640,928
営業損失(△)	△36,426	△42,906	△4,115	△83,448	(202,468)	△285,917

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (千円)	イギリス (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,815,663	244,226	15,663	2,075,553	—	2,075,553
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	89,014	—	—	89,014	(89,014)	—
計	1,904,678	244,226	15,663	2,164,568	(89,014)	2,075,553
営業利益又は営業損失(△)	75,641	△58,158	△5,628	11,855	(180,613)	△168,758

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	112,635	7,379	4,181	8,173	132,370
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	1,640,928
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	6.9	0.5	0.3	0.5	8.1

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
 2 本国以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) 欧州……イギリス、フランス、ドイツ
 (2) 北米……アメリカ
 (3) アジア……韓国、フィリピン
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	225,418	81,699	275	39,210	346,604
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	2,075,553
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.9	3.9	0.0	1.9	16.7

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
 2 本国以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) 欧州……イギリス、フランス、ドイツ、イタリア
 (2) 北米……アメリカ
 (3) アジア……韓国、台湾
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計(累計)期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	123,380

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	1,380

3 新株予約権等に関する事項

会社法施行日以前に付与したストック・オプションにつき、該当事項はありません。

4 配当に関する事項

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成21年4月27日付で、当社代表取締役社長中山晴喜から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本金が249,932千円、資本準備金が249,932千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,128,472千円、資本剰余金が1,129,991千円となっております。